

令和8年7月 30 日

ビジネスマッチング事例のご紹介

若い世代へ新潟の農業をつなぐバトン

新潟市西蒲区にある「株式会社 Angel Green」は若き農業者である勝山俊さんが令和 7 年 2 月に立ち上げたばかりの農業法人です。

「株式会社 Angel Green」創業者の勝山さんは、いわゆる「先祖代々の土地を受け継いだ昔からの農家」ではありません。30代前半から農業法人に勤務、その後理想の農業を実現するため独立開業されました。同社の現在の農業の手法は、農地を持たないですべて借地で農業を行う、地域では珍しいやり方です。

また、親族で行う農業が一般的で、採用難・人材不足が叫ばれている中、同社は農業ならではの自由の利く働き方やライフスタイルを PR することで、新しい人材ターゲット層を開拓しています。結果、採用活動は順調で従業員は増加傾向とのこと。元サラリーマンや元主婦などの様々な経歴を持つ従業員を雇用されており、個々の生産高に応じた給与を支払うなどの従業員のモチベーション向上にも取り組んでおられます。

このように、採用活動が順調に進む中、勝山さんは主にスイカ、ニンジンの生産を行っていましたが、更なる農地の拡大に意欲を燃やしていました。

月潟地区の農業法人とビジネスマッチング

巻信用組合 西川支店法人担当の横田代理は、勝山さんの想いを聴かせていただく中で、以前の勤務先であった月潟支店の事業者を思い出していました。

月潟支店の取引先である原正行さんは、産業廃棄物処理業をメインとする「株式会社スーパージングル」を経営される傍ら、先代から引き継いだ農地で農業を営んでいました。同氏は、月潟地区の耕作放棄地を地域課題と考え、「株式会社甚八農場」という農業法人を設立し、耕作放棄地を引き受けることで、問題解決に取り組んでおられました。しかし本業が忙しいことや、月潟地区の人手不足という事情が重なり、自社の遊休農地が増えていることが課題でした。

そんな中、横田代理は農地を借りたい方と農地を借りてもらいたい方のビジネスマッチングを思い立ちました。

農地の賃貸借契約が成立

横田代理は、さっそく月潟支店の田辺支店長と情報を共有、支店同士のこまやかな連携により事業者同士の話し合いが順調にすすみ、令和8年7月に農地の賃貸借契約まで至りました。他にも、お互いの持つ技術や資産を有効活用するための業務提携関係が築かれています。

今回の事例は、新しく農業を拡大していきたい若い事業者「株式会社 Angel Green」と、耕作放棄地問題に取り組む事業者「株式会社 甚八農場」をマッチングさせることができました。

巻信用組合は、今後もお客様とのお対面の取引を大切に、事業に対する思いや悩みを共に理解させていただいたうえで、自分たちにできることを考え、地域の皆さま、さらには地域経済の発展に貢献していきます。

